

令和7年度 紅型研修（通年）※技術経験者対象	
目標	古典びんがたの基本技術、応用技術を習得する。
講師	25年以上の紅型技術、事業歴（または同等の技能）を有する熟練技術者
定員数	4名
研修期間	4月中旬～翌年3月中旬（※5日/週：火～土曜日、※日・月・祝日、慰靈の日、12/29～1/3は休み）
研修時間	9時15分～17時15分
場所	おきなわ工芸の杜内 染色共同工房（所在地：沖縄県豊見城市豊見城1114番1）

年間カリキュラム

項目	科目	内容	日数 (目安)
古典びんがたの知識	染色材料、和装、伝統意匠など	染料・顔料、布地、古典文様の理解、扱いに関する知識を習得する。	30
	染め手工具	小刀、ヘラ、筒袋、刷毛、ルクシュー（型彫り台）など、手工具の手入れ、使用技術について習得する。	
	型染、筒引き	図案の配置、型彫り、のり置き、染色（配色、二度刷り、隈取り）、蒸し・水元など染色の基本について習得する。	
	製品計画、デザイン	スケッチ、工程表など、紅型制作に要する計画スキルを習得する。	
	【配色・サンプル】	基本配色見本 サンプル、データづくり	
	【帯（半幅、九寸）】 全通、六通、たいこ柄の課題について、びんがたの技法である染地型または白地型技法で制作する。	古典文様による図案、工程計画 布地（絹、麻、木綿）の準備 型紙（型彫り、紗張り、つり落とし）	
	【着尺】 総柄、小紋、絵羽課題について、びんがたの技法である染地型または白地型技法で制作する。	【染地型】 型置き（のり置き）、地入れ 染色（配色、二度刷り、隈取り）、地染 蒸し・水元・仕上げ	
	【うちゅくい（風呂敷）】 筒引き、藍染め	【白地型】 型置き（のり置き） 染色（配色、二度刷り、隈取り） のり伏せ、地入れ、地染 蒸し・水元・仕上げ	
	【その他】 ショール、のれん、タペストリー、ウエアなど、縫製二次加工を含むオリジナル作品を考え、制作を行う。	下描き、筒引き（のり置き）、豆引き 配色、二度刷り、隈取り、琉球藍浸染 蒸し・水元・仕上げ	
	【選択制作】 技術の応用	アイディア出し、デザイン 白地型、染地型、筒引き 染色（配色、二度刷り、隈取り）、地染 蒸し・水元・仕上げ	20
多様な知識	座学	工芸概論、工芸とデザイン、伝統文様、マーケット	18
	外部講師講習	琉球藍だて、和裁、筒引き、スケッチ	
	専門講習	琉球、紅型の歴史、概況 工芸材料、製品評価、企画・表現	
	現地実習	原材料調査、文化施設など訪問	
	工房訪問、催事視察	紅型組合、紅型工房	
	交流	異分野工芸、レクリエーション	
	展示企画	画像撮影、ディスプレイ、説明 中間報告会、成果展ほか	
入所式・修了式など			1
外部講習（藍染め）			日数 224